

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 1 首都圏道路交通状況観測・効果分析業務
業 務 概 要	本業務は、首都圏3環状道路を始めとした道路整備の進捗を踏まえ、平常時に加え行事開催時や災害時等の幹線道路の交通流動について分析を行うとともに、3環状道路周辺の幹線道路の交通状況を迅速かつ的確に把握するためのビッグデータの分析方法や、局所的な交通課題抽出に際し、交通流動をきめ細かく把握するための交通量等の取得方法について整理を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和2年3月19日
契 約 業 者 名	R 1 首都圏道路交通状況観測・効果分析業務 計量計画研究所・パシフィックコンサルタンツ設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都新宿区市谷本村町2番9号
契 約 金 額	37,950,000円(税込み)
予 定 価 格	37,961,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 R 1 首都圏道路交通状況観測・効果分析業務 計量計画研究所・パシフィックコンサルタンツ設計共同体は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和2年 3月20日
履 行 期 間 (至)	令和2年 9月30日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。